営農かわらばん９月号

令和８年第７号
【稲作情報：長岡地区】

令和８年９月３日
ＪＡえちご中越
（越後ながおか地区版）

籾の黄化率（85～90%）を圃場ごとに確認して適期に収穫しましょう！

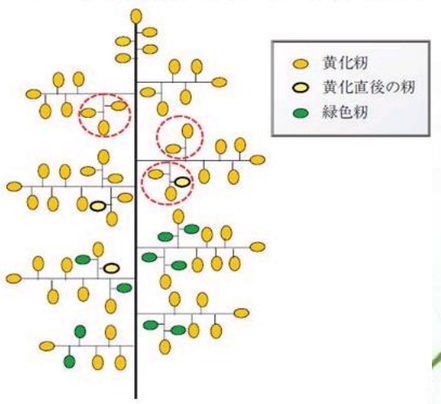
～ 刈り遅れによる胴割粒発生に注意！ ～

１．出穂後積算温度による刈取適期のめやす　（８月２０日現在 JAえちご中越）

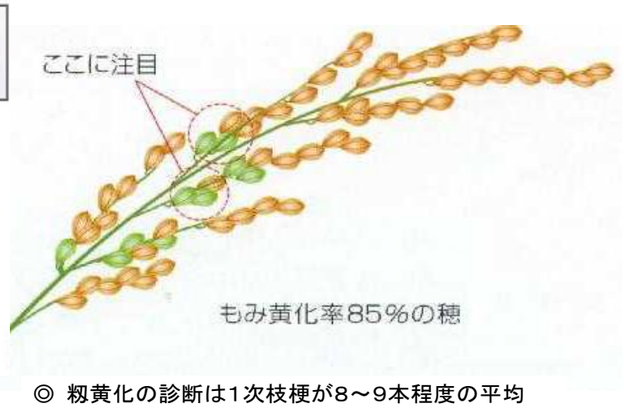
	出　穂　期（基準日）	刈取適期のめやす	必要積算温度
コシヒカリ	７月２８日	**９月　１日頃**	９５０℃
にじのきらめき	８月　２日	**９月１０日頃**	１,０２５℃
新之助	８月　６日	**９月１４日頃**	１,０２５℃

※8 月 19 日までは本年値、それ以降は平均値(2016～2025)を使用。今後の天気により変わることがあります。
※全品種が高温気象で経過しているため、収穫適期のめやすは平年より 50℃（2 日程度）早めています。

２．１穂の上位３～４本目の１次枝梗に着生する２次枝梗籾が黄化した時期（籾黄化率 85～90%程度）が、刈取適期です。



◎ 点線内（上位3～4本目の1次枝梗に着生する2次枝梗籾）が黄化した時が刈り取り適期。



◎ 籾黄化の診断は1次枝梗が8～9本程度の平均的な穂について行う。調査本数は 10 穂程度必要。８本以上が該当すれば刈り取り適期。

◎収穫は「収穫適期のめやす」を参考にし、ほ場全体を見て
籾の黄化割合が 85～90%になったことを確認して収穫しましょう。

10月中旬までに「稲わらの“秋すき込み”」と「土づくり肥料の散布」を実施しましょう！

◎「稲わらの“秋すき込み”」と「土づくり資材の散布」は、水田の地力維持と令和８年産米の高品質・安定生産の準備として、大切な作業です！
◎水田への稲わら秋すき込みは、堆肥施用と同等の「土づくり」効果が期待できます。（図１）
◎稲わらや籾がらは土づくりとケイ酸の補給に向けて有効活用しましょう。

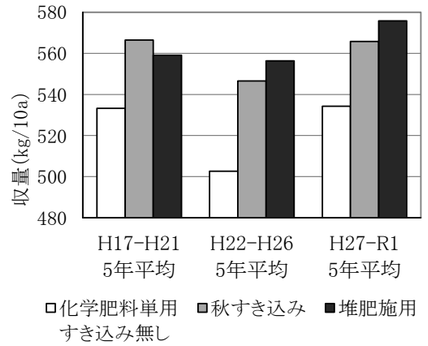
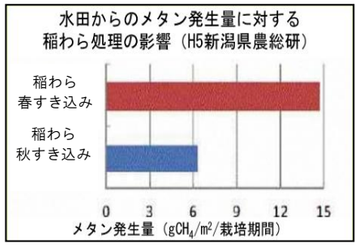


図１　有機物長期連用による収量推移
（H17 年～R元年、新潟農総研）
※コシヒカリ場内 現地の２ほ場平均



３．“秋すき込み”の効果

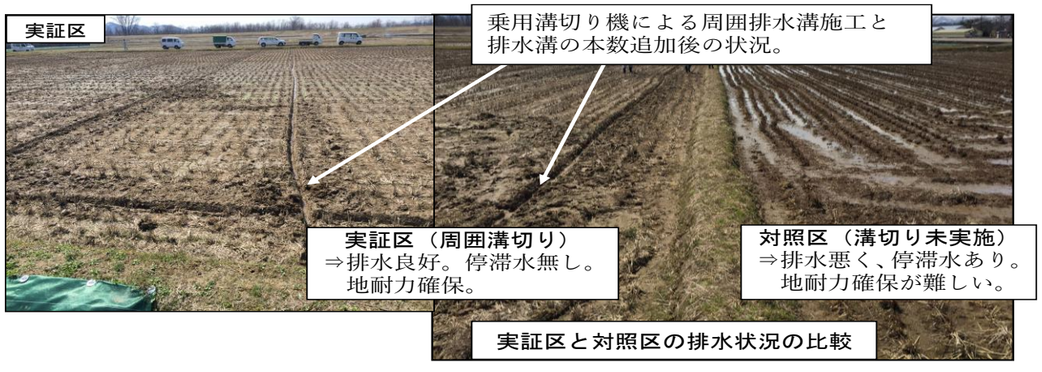
（１）土壌の**地力窒素**が、**稲わら堆肥並み**に維持されます。
（２）根腐れの原因となる**ワキの発生が軽減されます**。
（３）稲が**吸収可能なケイ酸を増加**させます。
（４）水田の**保水力が向上**します。
（５）地球温暖化ガスである**メタンの発生を抑制**します。



４．“秋すき込み”の方法

（１）地温が 15℃以下になると微生物の活性が低下するので、微生物の活動が盛んな（地温 15℃以上）**10 月中旬までに、すき込みましょう。**
→　翌年の稲作期間の**ワキ（硫化水素やメタン）の発生が少なくなります。**
（２）すき込みの耕深は、作業効率と稲わらの分解促進の為、**5～10cm 程度に浅く耕起しましょう。**

※水はけが悪いほ場や、枕地などで滞水し“秋すき込み”が難しいほ場では、可能な限り溝を切って表面排水に努め、田面を乾かしてください。溝は必ず排水口につなげましょう。



【参考】H29 年度宮内地域品質向上プロジェクト「砂利採取後排水不良ほ場の排水対策」
実証圃の本田準備排水状況（H29　JA 越後ながおか、六日市）

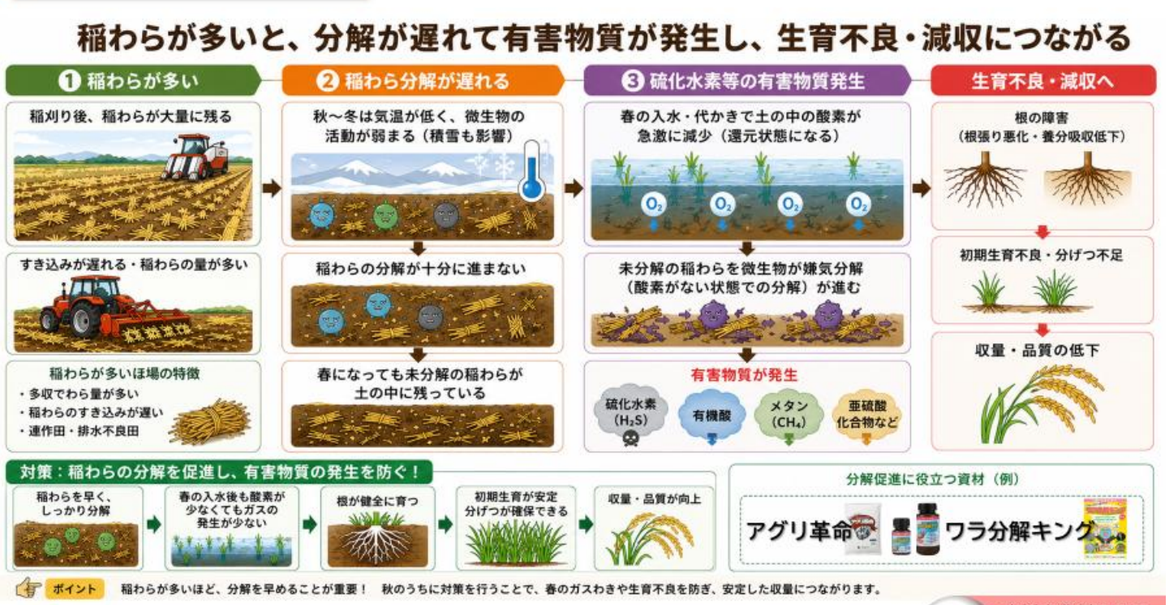
初期生育確保のために土壌の健全化に取り組みませんか？

近年の土壌課題

①土づくりの停滞（土壌pH低下、ケイ酸量減少、稲わら分解遅延）
②秋の高温によるひこばえの大型化（植物残渣増加）
③透水性・排水性不良、浅耕化（作土層内の稲わら増加）
④春先の気温上昇（還元進行）



ワキ発生のメカニズム



おすすめの商品紹介

※稲わら分解資材はスポット散布でもご使用いただけます。

JA支援品目
支援事業対象品目
R8年11月末まで購入
→R9年1月入金予定
※別途申請が必要

酵素資材

酵素の力で残渣を**速やかに分解**



支援品目 250円/袋

品　　名：アグリ革命（2kg）
参考価格：2，490円（当用配達）
使 用 量：2kg/10a
特　　徴：低温時でも分解促進



支援品目 250円/100ml

品　　名：アグリ革命アクア（100ml）
参考価格：2，190円（当用配達）
使 用 量：100ml/10a
特　　徴：8倍希釈でﾄﾞﾛｰﾝ散布可

微生物資材

２種類の微生物で**強力分解**



品　　名：ワラ分解キング（10kg）
参考価格：2，539円（当用配達）
施 用 量：10kg/10a
特　　徴：背動散での散布におすすめ
※地温10℃以上で微生物の動きが活発になり、分解が進みます。

鉄＋ケイ酸入り肥料

鉄でガスを**無害化**



支援品目 250円/袋

品　　名：アイアン米スター（20kg）
参考価格：2，730円（当用配達）
使 用 量：20kg～60kg

保証成分量（%）				含有（%）
く溶性りん酸	アルカリ分	可溶性けい酸	く溶性苦土	酸化鉄
1.0	26.0	20.0	1.0	30

鉄とけい酸で
稲を根元から元気に！



5．「2030 土づくり戦略」土づくり資材等支援について

持続可能な稲作農業を実現するために①支援対象とする資材のＪＡから購入した実績に対して支援、②支援対象とする資材の散布受託をした農業者・組織に支援を行います。

令和８年度対象期間：令和８年２月１日～１１月３０日

【支援対象とする土壌改良材】
「アグリ革命」「アグリ革命アクア」「アイアン米スター」「ニュー米スター」「みつパワー」「農力アップ」「スーパーシリカプレミアム」「苦土重焼燐」「粒状熔燐」「シリカリュウ 17」

【支援対象とする有機質資材】※秋散布・秋耕することを基本とする。
「みやぎ有機」「ケイフン」「豚ぷん堆肥」「牛ふん堆肥」「鶏ちゃんパワー」「アヅミン」「アヅミン苦土石灰」

支援単価（見込み）

項目	単価
支援対象とする土壌改良材	１袋あたり２５０円（税込） フレコンの場合、１７円/kg（税込）
支援対象とする有機質資材	１袋あたり１００円（税込）
散布受託	１袋あたり２００円（散布受託申請者のみ）（税込）

申請期間：令和８年１１月２日（月）～１１月３０日（月）
申請を希望される方は申請期間になりましたら営農センターへ連絡をお願いいたします。

6．ながおか地区農業振興支援策「土づくり散布作業支援」について（今年度限り）

JA 重点品目である土づくり資材をＪＡ作業受委託にて圃場散布を行った作業受託者に対して支援します。
※上記「2030 土づくり戦略」土づくり資材等支援の散布受託との重複は出来ません。

【支援基準】　作　業：ＪＡ農作業受委託を介し土づくり肥料をほ場散布
助　成：散布面積１０ａあたり、作業者（受託者）へ 1,500 円を支援
散布量：みやぎ有機　コシヒカリ 45kg/10a　こしいぶき 75kg/10a

肥料名	みつパワー	ようりん（粒）	ニュー米スター	農力アップ	アイアン米スター	シリカリュウ 17
施肥基準（10a 当たり）	60～120kg	40～80kg	30kg	60～100kg	60～100kg	60～100kg
当用配達価格	1,650 円/袋	3,740 円/袋	1,800 円/袋	1,930 円/袋	2,730 円/袋	1,860 円/袋

（※令和８年９月１日現在の当用配達価格です。）

ＪＡえちご中越（ながおか）ＬＩＮＥ公式アカウントへ登録お願いします！

ＪＡから生産者様向けに栽培技術情報や気象情報等、最新の営農情報をお届けします！
右記ＱＲコードから友達登録をぜひお願いします！



たくさんの人から登録をお願いするのジャ！

LINE

お問い合わせ先：ながおか営農センター　0120-915882
ながおか西営農センター　0120-915883